

# 宇都宮民報

—発行—  
日本共産党  
宇都宮市委員会  
弥生1丁目7-11  
旭コーポ1階  
TEL634-8722

政治闘争の道しるべ、  
闘争のたすけ道しるべ  
しんぶん 赤旗  
日刊 3497円  
月刊 930円

## 市民と野党が 力を合わせ 新しい政権をつくる年に!!



新型コロナ感染症の第3波が、急速な広がりを見せる中で迎えることとなった2021年。日本共産党栃木県議団と宇都宮市議員団では、1月5日早朝、JR宇都宮駅西口で定例の宣伝行動を行いました。宣伝には、衆院栃木1区予定候補の青木ひろし国政対策委員長も参加しました。福田くみ子議員は、「コロナ禍を経て、政治の役割が大きく問い直されています。」として政権交代への決意を訴えました。

天谷議員は「核兵器禁止条約に参加する国を共に作る」と、原議員は、「コロナ禍の下でも子どもたちの声を聴くことの大切さ」を訴えました。また、野村せつ子県議は、「県内のコロナ第3波の急拡大の下で、ついに病床が不足」自公政権のもとでの無策を批判。野党共闘での政権交代への必要性を述べました。

青木ひろしさんは、「人災と言われても仕方ない自公政権のコロナ対策。社会の在り方を根本的に見直す声も大きく広がっています。市民と野党が力を合わせれば、必ず政治は変えられる。新しい年2021年こそ、野党共闘の力で自公政権を終わらせ、新しい政権をつくる年にするために力を尽くしたい。」と新年の抱負を述べました。

## 野党連合政権のかなめ!! 日本共産党の躍進を!

予定候補が そろい踏み

「総選挙で党躍進を」と12月26日、JR宇都宮駅西口において、予定候補4人のそろい踏み街頭演説会が行われました。衆院栃木1区予定候補の青木ひろし国政対策委員長は、コロナ対策で失政つづきの菅



(左から) 大内、塩川、梅村、青木の各氏

いよいよ総選挙の年です。新型コロナ対応無為無策、日本学術会議への人事介入など強権政治あらわな菅自公政権を倒し、野党連合政権をつくりましょう。政権奪取の最大の力日本共産党の躍進で、①新自由主義から転換し、格差をただし暮らし・家計応援第一の政治を。②憲法を守り、立憲主義・民主主義・平和主義を回復する。③覇権主義への従属・屈従外交から抜け出し、自主・自立の平和外交に転換する。④地球規模の環境破壊を止め、自然と共生する経済社会をつくる。⑤ジェンダー平等社会の実現、多様性を大切に、個人の尊厳を尊重する政治を。

消費税減税を! 梅村さえこ前衆院議員は、

政治を批判し、くらしと営業支援を訴えました。さらに先の宇都宮市長選での教訓もふまえ、政治を変える市民と野党共闘の発展を訴えました。営業自粛に補償を! 塩川鉄也衆院議員は、コロナ問題で困っている医療機関の減収補填や営業自粛とセットのしっかりとした補償が行われていない問題、および大型開発や兵器の爆買いなど無駄遣いが横行している問題点を指摘。さらに「桜を見る会」疑惑追及に関して安倍前首相のうそで塗り固められた答弁を批判し、政府与党内にはびこる「政治とカネ」の問題にもきちんと決着をと訴えました。

この「新しい日本をつくる5つの提案」実現へ全力で取り組みます。



日本共産党茨城県副委員長  
**大内くみ子**



日本共産党前衆議院議員  
**梅村さえ子**



日本共産党衆議院議員  
**塩川鉄也**

最後に、野党連合政権実現のかなめの党躍進を、との訴えでしめくられました。

東海第二原発 再稼働ストップ! 大内くみ子党茨城県委員長からは、茨城の東海第二原発の再稼働が狙われているが、もし地震、津波などで事故が起きれば首都圏全体に及ぶ影響あり、再稼働ストップと原発ゼロの日本を、と訴えられました。



# いのちと暮らしを守るため力をつくせ！

## 新型コロナウイルス感染症に関する緊急要望書提出



新型コロナに係る緊急要望書を手渡す  
党市議員団 右側は手塚副市長

待機者478人

問題点明らかにせよ

新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大を受けて5日開催された栃木県臨時市町村長会議の結果が発表されました。本市内の飲食店等に対する営業時間の短縮要請が発出されることなどが決定されました。

これを受けて、日本共産党宇都宮市議員団は緊急要望書を6日、市長に提出しました。要望内容は以下の通り。

**1** 本市の感染者は急激に増加しており、多くが感染経路が不明とされている。無症状者が感染を大きく広げていることは否定できない。無症状者をできる限り早期に発見し、保護・隔離するためには、「社会的インフラを継続的に維持するためのPCR検査」を抜本的に拡大する以外ないことは、多くの医療者・専門家も指摘し、海外では常識となっ

ている。については

①本市の現況に鑑み、世田谷モデルにならない医療機関、介護・障がい者施設、保育園・幼稚園・児童養護施設等、小中学校・学童保育等の職員への定期的なPCR検査を早急に実施すること。

②飲食店従業員への社会的PCR検査を実施すること。また営業時間の短縮要請に伴う県の協力金の上乘せを行うこと。

**2** 栃木県では感染確認者については医療機関317床、ホテルで284床確保してあるとのことだが、一方で入院157人、ホテル療養者34人待機者が478人となっている。入院調整に時間がかかっているとのことだが、速やかに入院・保護・隔離できない問題点を明らかにすること。家族内での感染が急増している点からも、速やかな入院・保護・隔離できる体制整備を求める。

**3** 第3波の到来は半年前から予測されていたにも関わらず、この間の県・市の対応及び準備は、保健所や医療現場の状況を顧みず、大変甘いものであったと改めて指摘し、いのちと暮らしを守るため出来る限りの、人的体制・財政出動を行うことを求める。

### コロナ禍のもと、年末年始の生活困窮者への対応を求める

宇都宮生健会が要望

暮れも押しつまった12月22日、宇都宮市生活と健康を守る会の役員4名と天谷議員は市役所生活福祉課の職員との懇談を持ちました。

会としての要望は、①年末年始の期間、自立支援機関や福祉事務所等の臨時開所をしていただきたい。②相談体制の確保などを行い、支援が途切れることのないよう必要な措置と配慮をしていただきたい。という内容です。

懇談会では、「年末年始の休日体制については、今回もいつも通り市役所警備員室から連絡を受け対応している」という

「3人の職員が持ち回り対応できるよ



うに体制をとった。「何かあればケースバイケースで対応する。」「年末年始期間は、住まいのない方に対しては、無料低額宿泊所を案内している。」

住居があっても食料がない。お金がないという場合はどうするの?という質問に対しては、「民生委員の方や社会福祉協議会への相談になる。」「フードバンクさんとは協力・共同で対応させていただいている」とのやりとりがありました。

生活福祉課として4月からインターネットカフェに対し

て電話での連泊者がいないかの問い合わせを行っているが、今のところ連泊者はゼロである。また市内で路上生活者の有無を年2回調査しているが、20名ほど路上生活者がいることを把握している。と報告がありました。

女性の相談に対してはパルティの女性相談所が対応できると話がありました。また、食料のサービス支援は今のところフードバンクに頼っている状況であり、今後は官民一体で実施していく必要があるという話になりました。

日本共産党宇都宮市議員団 定例無料

### 市政・法律なんでも相談会

雇用問題・多重債務・生活保護・年金・国保・住宅  
道路・交通安全・その他なんでも・・・

◇日時 2月13日(土) 午後2~4時  
3月13日(土)

◇会場 宇都宮市総合  
コミュニティーセンター

◇連絡先 日中 TEL632-2622  
(党市議員団控室)

土・日・夜間 TEL634-8722  
(党市委員会)

相談ご希望の方はできる限り事前にご連絡をお願いします。

秘密厳守します。弁護士が協力します。